

「賃金アップの圧力」

税理士、司法書士 石原 知二

物価高騰に加えて、社会的な圧力が強まっている賃金アップは、中小企業にとって大きな課題です。

賃金アップができなければ、離職や更なる募集難など、中小企業のリスクがさらに増大するでしょう。

賃金をアップするためには、従業員一人当たりの稼ぎ高が増えなければなりません。

従業員一人当たりの稼ぎ高は、労働生産性と言います。

この労働生産性を上げなければならない、これが、中小企業の最も重要な課題です。

従業員一人の一時間当たりの労働生産性は、『その企業の年間の稼ぎ高÷全従業員の総労働時間』に分解できます。

そうすると、労働生産性を上げるには、分子の稼ぎ高を増やす方法と、分母の総労働時間を短縮する方法があることがわかります。

稼ぎ高は、ざっくり、『売上－原材料費、外注費』とします。

この数式から、稼ぎ高を増やすには、売上を増やす方法と、原材料費や外注費を削減する方法があることがわかります。

総労働時間を短縮する方法は、労働時間がどんな業務に使われているかを分析することで、デジタル化やロボット化など業務ごとに具体的な対策を考えやすくなります。

今度は、売上を、分解すると、『顧客単価×顧客数』ということになります。

そうすると、売上を増やすには、顧客単価を上げる方法と、新規顧客数を増やす方法が見えてきます。さらに顧客単価は、分解すると、『商品単価×数量』になります。

そうすると、顧客単価を上げる方法は、商品単価を上げる方法と、顧客一人当たりの購入数量を増やす方法があることがわかります。

このように、課題は、分解して小さくすることで、取り組みやすくなるはずですよ。

課題解決こそ、企業活動の中心であることは間違いありません。

企業の売上は、顧客や社会が抱える課題解決の手段を提供したその対価です。

そのような視点から、売上のアップ対策を考えてもよいのではないのでしょうか。

＜スタッフの言葉＞

今年の大雪は大変でしたね。何度も雪かきをして疲労困憊でした。

できることなら少しでも楽ができる雪かきスコップがあればと思いますよね。

自分が子供のころは重くて大変でしたが、今は軽量のアルミ製や車載にぴったりのコンパクトタイプなど色々な種類がありますね。

雪かきスコップは、種類によって性能や使い方が大きく変わるため選び方が重要ですが、調べてみると、大きく5つの種類にわかれるそうです。

- ①雪はね、
- ②スノースコップ、
- ③スノープッシャー、
- ④角スコップ・剣先スコップ、
- ⑤スノーダンプです。

よく使うのは、スノーダンプですかね。知らなかったのですが、電動式の除雪スコップもあるそうです。

寒い中での除雪作業はかなりの重労働で、転倒や雪の落下などの危険もあります。

少しでも雪かきの負担を減らし、冬を快適に過ごす方法を模索してみましよう。

紺屋



すずかぜ新聞

第151号

税理士法人すずかぜ
〒937-0068

魚津市本新町27-17
TEL 0765 (24) 2210
FAX 0765 (24) 2995

令和7年
3月号

ミモザ



花言葉：「感謝」「優雅」「友情」

ミモザは鮮やかな黄色とポンポンの様な可愛らしい見た目が人気のお花です。3月8日は「ミモザの日」と呼ばれています。ミモザの日とは、国連により制定された「国際女性デー」のことです。国や民族、言語文化経済政治の壁に関係なく、女性が達成してきた成果を認識する日とされています。そして、国際女性デーに男性から女性へミモザを贈るといふイタリアの文化が世界的に広まったことにより、ミモザの日と呼ばれています。



住む人にやさしい、
住まいづくり。

住まいづくりは一生に一度の大きな買い物。
大手企業ではできない、きめ細やかなサービス。
地域密着型の会社ならではの親身なフォロー。
大事な住まいをお客様と一緒に作りあげていきたい。
新築、リノベーション、水回りなどリフォームから、
店舗内装など、様々な住まいのお手伝いをしています。

颯創建の家づくり

ぬくもりある生活をコンセプトにお施主様のライフスタイルにあったお家を創造し、
設計～施工～管理をしまります。
20代より大工として、いろいろな現場に携わってきた経験を元に変ってゆく時代
に寄り添った安心できる住まいを提供できるよう努力します。

design



家族、土地、暮らし方と 家屋設計はセットであると考えます

北向き、西日が差し込む南向きなど、その土地によって住まいの設計は大きく変わってきます。
狭小地、土地のカタチ、風の方向なども考えて設計することで、暮らしやすく、長持ちする家になります。
明るすぎず、暗すぎず、プライバシーを保ったプランを考え、ご家族に合わせた空間、暮らしを相続しながら設計します。
富山の風土の原理原則にしたがい、そこに住む家族に最適な家を目指して、家屋設計することが肝要であると颯創建は考えます。

structure

日本に古来より使われてきた 在来軸組み工法をベースに耐久性、耐震性、断熱性を重視して設計

弊社では家を支える構造や性能を要都市、昨今増加傾向にある天災に供え、快適、安心に暮らせるよう計画いたします。

基礎：強度、バランスを間取りに合わせて最良のものを考える。

躯体：できる限り強く長持ちをモットーに設計します。

断熱：サッシ（開口部）に重点をおき、ご予算に合わせて最良の断熱材を吟味します。



新築・リノベーションリフォームから店舗工事まで
住宅に関することなら、お気軽にご相談ください。